

韓国南部で採取された野鳥の糞便から 高病原性鳥インフルエンザウイルスを検出！

10月20日、韓国南部の順天湾で採取された野鳥の糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出されました。

渡り鳥が飛来する時期を迎えていますので、飼養衛生管理基準に基づく予防対策を徹底してください。

(裏面参照)

家さんにいつもと違う異変があれば、早期の通報をお願いします！



【事例の概要】

- ・採取場所：韓国の順天湾
- ・確認経過；10月12日に採取された野鳥の糞便の精密検査の結果、10月20日にH5亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスを検出

九州

毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へご連絡ください。

京都府山城家畜保健衛生所
城陽市寺田北山田31-47

TEL:0774-52-2040(夜間・休日転送)
FAX:0774-52-2030

飼養衛生管理基準の遵守状況の点検を！

鶏、あひるなど家さん飼養者の皆様へ

家さんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策をお願いします。

特に、次の飼養衛生管理基準7項目の遵守状況を点検してください。

- ① 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等（項目15）
- ② 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用（項目16）
- ③ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等（項目17）
- ④ 鶏舎に立ち入る者の手指消毒等（項目25）
- ⑤ 鶏舎ごとの専用の衣服及び靴の設置並びに使用（項目26）
- ⑥ 鶏舎外での病原体の汚染防止（項目28）
- ⑦ 衛生管理区域内の整理整頓及び消毒（項目32）

発生予防のポイント

農場に入る全ての

人・車両・物品の衛生対策



周囲にはウイルスがあると認識。
農場内・家さん舎内には入れない。

衛生管理区域・家さん舎ごとに
専用の長靴を着用



着替え・履き替えの前後で
交差しないよう境界を明確に。

ウイルスを媒介する

野生動物の侵入防止対策



「農場に近寄らせない」
「農場内に入れない」
「ネズミ・ハエ等の定期的な駆除」